

無垢造作材の高精度な技術で、特殊加工にも対応。

「建築現場を止めない」をモットーに地域の木材産業を支える。



高精度な技術により加工された造作材

どんな事業をされていますか？

当社は、無垢の造作材の受託加工を中心に事業を展開する木材加工専門の会社である。先代である創業者が、静岡市清水区で材木屋の修行をした後、「自分の加工場を持ちたい」という思いから、小規模な加工場を立ち上げ創業した。創業当初は、建築用木材に加え、清水港の造船業者からの需要により、船舶用甲板の加工も手がけるなど様々な加工に携わり、今日まで技術を磨いてきた。現在は、住宅用建築材の加工を主力に、車両部材や梱包材などの加工も行っている。顧客は、主に静岡市内の工務店や材木店であり、細かな加工依頼に応える地域密着型の加工所として、無垢材の特性を見極めた高精度かつ丁寧な加工を手掛けている。



様々な加工機を有する加工所



溝加工を施した梱包材



NCルーターによる曲線加工

事業の特長や強みは何ですか？

当社の強みは、加工する無垢材の特徴を判断して、用途に応じた最適な加工工程を組み立て、精度の高い加工ができることである。加工前の段階で、無垢材に生じる反りやねじれを直すためプレナーで直角や平面を出し、仕上げ時の寸法精度を確保している。溝加工や仕上げ加工では、溝の位置や天地の判断等を細部まで確認しながら加工をしており、現場の大工から施工性の良さが評価されている。また、サンダーでは出せない滑らかな仕上げを実現する「超かなな仕上げ」が可能で、品質が高い化粧材の加工ができることも評価されている。当社は、配達を行わず、加工材を加工所に持ち込んでもらうというスタイルをとっているが、顧客からの受注は継続することができており、工務店や材木店から「安心して任せられる加工所」として信頼を得ている。

代表的な製品、サービス、設備などは？

主力は、住宅建築の造作材の加工で、杵材・巾木・床板など多様な部材に対応している。そのほか、車両部材の加工も行っており、トラック荷台に使用する木材の穴あけ・溝加工など特殊な加工にも対応している。また、梱包材の溝加工なども行っており、幅広い用途の木材加工に対応することができる。設備は、一般的な木材加工機械を保有しているが、加工の需要に応じて必要な機械を増やし、様々な加工に対応できる体制を整えてきた。また、幅広材を扱う際は、反りを抑えるため加工直前まで養生を施する等、加工材の保管管理に細やかな配慮をすることより、品質を確保している。

今後の展望をお聞かせください。

木材利用の新たな展開として「カンナフラワー」への取り組みがある。当社が提供するかなな屑を、連携している花屋さんが花のように加工するもので、新築祝いや贈り物として使われている。きっかけは、取引先から依頼された別用途の花づくりであったが、出来上がりの美しさから反響があり、現在は、花屋さんで教室が開催されるなど、徐々に需要が広がりつつあり、端材の新たな活用方法として可能性を感じている。また、近年広がっている非住宅の木材需要に関しては、カウンター材など部分的な特注加工に対応していく方針である。今後も、加工技術を活かした新たな展開を模索しながら、創業以来培ってきた「現場を止めない加工技術」を軸に、地域の木材加工業としての役割を果たしていきたい。



かなな屑を活用したカンナフラワー



自社の加工技術で、建築現場を支えたいと語る市川賀也 代表取締役

取材日：令和8年5月18日

清水港木材協同組合 有限会社市川木材加工所

代表取締役 市川賀也

静岡県静岡市清水区長崎1127-41

TEL. 054-345-8432 FAX. 054-345-8692

Mail : ichikawa-m@cy.tnc.ne.jp

創業：1961年

事業内容：建築用、車両用、梱包用木材の受託加工

従業員数：3人

年間売上高：3,800万円（2025年度）